

秋田県福祉サービス第三者評価結果表(保育所版)

① 第三者評価機関名

NPO 法人秋田県福祉施設士会

② 施設・事業所情報

名称：大館乳児保育園	種別：保育所
代表者氏名：園長 兜森和夫	定員（利用人数）： 70名(58名)
所在地： 秋田県大館市泉町 8-12	
TEL：0186-42-5130	ホームページ： http://www.nyujihoikuen.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 昭和 45(1970)年 2月 1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人大館感恩講	
職員数	常勤職員： 23 名 非常勤職員 7 名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士 19名
	栄養士 1名 社会福祉主事任用 1名
施設・設備 の概要	（居室数）
	保育室・ほふく室(70名) 464.81 m ² ホール等 265.01 m ²

③ 理念・基本方針

<p>理 念： 子ども一人ひとりを大切にし、保護者からも信頼されるよう、「明るく、楽しい、活気に満ちた保育園」を目指します。</p> <p>基本方針： 健康で安全な環境の中で、保育士との愛着形成を通して情緒の安定を図り、信頼感を育み、「生きる力」の基礎を培います。</p> <p>優しく、丁寧で、心を込めた保育で、心と体の発達と生活習慣の獲得を目指します。</p>
--

④ 施設・事業所の特徴的な取組

<p>当園は、生後2か月から3歳未満児までの乳児保育園。理念・基本方針にふさわしく、①まず安全第一、②0歳児や1歳児、2歳児までに関する子どもの発達段階にふさわしい教材・遊具の独自開発が多く、③保護者支援では子どもの成長の喜びの共有に力点が置かれた運営をしています。特に、これら①～③を支えているシステムとして、研究部を設け、エピソード会議(月1回)・園内公開保育・保育研究会(年5回)・教育庁幼保推進課や保育アドバイザーを招いての公開保育・保育研究会(年1回)を実施。このことから「子どもの内面の観察」や「保育士の振り返り」等を学習しているのが特徴。保育目標に向けて一丸となって実現すべく組織全体で共有しています。職員の在職年数は1</p>

6年と長く、結果として組織のサービスの質的向上の取組みに寄与しているものと思われます。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年6月10日（契約日）～ 令和2年9月14日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（平成28年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

- ・上記特徴的な取組みにあるように、組織全員がPDCAサイクルを回し、情報の共有や仕事としての「魅力ある職場づくり」に取組み、スーパービジョン体制もあります。
- ・ホールには触刺激を感じずするための感覚インプットの場所や自他領域を区別するであろう「こもるための部屋」などが配列。全面芝生の園庭にはカラフルな遊具と砂場、滑り台など。野菜のプランターや園庭の周りを利用した畑では工夫された空間が感ぜられた。（4年前の訪問調査と比較するとかなり手が加えられているのがわかる。）
- ・子どもが3未満児であることから、どの職員も安全面は最優先しており、例えば砂場を年齢児毎に分けて3か所だったり、超音波発信機よる猫やネズミ防御、感染予防の点ではそれぞれの場所に定期的にチェックした検査済みなど、大きな砂場は頑丈な4本の柱に支えられた屋根に代わっていた。手作り工夫された日陰創りになるなど子どもの安全面に配慮していることがよく感ぜられた。
- ・自然との教材では、さつま芋・枝豆・トマト・キュウリなど。我々訪問時には2歳児が「枝豆の収穫」で、この試食もかなえられ、子どもにとってはよい体験と思われた。
- ・4年前の訪問時同様、食事の本物のメニューやおやつメニューが紹介されており、玄関内の目につくような場所で、保護者側の安心にも寄与するものと思われた。
- ・理念基本方針にあるように、保護者信頼が厚く（アンケート：全体の肯定的意見96%）、組織として、目指す保育士の姿・こんな子に育てほしい（保護者要望）に向けて組織一丸となっています。
- ・また、子どもの尊重や基本的人権への配慮については、「否定語を使わない」を職員間で意識化を図り「気づきシート」「子どもの様子」「保育士の関わり」「エピソード記録」等をチェック項目に取り組んでいます。
- ・行事や日常の保育の様子を映像化したDVDや写真用CDを貸し出し「育ちの喜び」を共有する取組みも満足度に反映されているようです。
- ・備蓄品は、アレルギーのある子どもでも大丈夫な物を取り揃えています。
- ・職員の工夫による子どもが興味を持つような遊びの空間、遊具が整備されています。
- ・個々の保育実践についてのフィードバックが書面、口頭で綿密になされています。

◇改善を求められる点

- ・中長期ビジョンによる計画が文章化されていませんが、今までの環境整備や保護者要望としての「乳児から5歳児」までの利用希望があります。施設長の頭の中にあるこれらを整理して計画の「見える化」につなげていくように期待したいものです。
- ・地域の中の施設に関しては、「地域ニーズの把握」からこれに応えていく役割があります。大館乳児保育園では、発達段階に合ったノウハウを追及するシステムが形成されていると思いますので、他の保育園への「事例発表によるシステムづくり」として活躍できることも視野に入れながら「地域に対する姿勢」を工夫してみたいでしょうか。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

- ・当市では、待機児童対策として未就学児施設の新設や定員増が進められてきたが、なおも若干の待機児童は解消されていない。また、保護者アンケートに寄せられる要望にも、5歳児までの保育を望む声もある。かつ、子どもの育ちには保育の連続性も必要だと考える。こうしたことを踏まえ、将来のニーズ予測・人材育成・施設整備・財政計画等にわたり、計画の「見える化」をしていきたい。
- ・新保育指針で乳児・1歳以上3歳未満児の保育に関する記載の充実が図られたことから、本園でも種々の工夫をして取り組んできた。あるべき保育所を目指して、一層の取り組みをしていきたい。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果

【共通評価項目】(45項目)

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<p><コメント>理念・基本方針は、各子どもの部屋に掲示され、「令和2年度大館乳児保育園全体的な計画」の中に、国(保育所保育指針)・秋田県が目指す子供の姿・大館市の保育目標に合わせて、当園保育目標・目指す保育者の姿・こんな子に育てほしい(保護種の要望)、令和2年度重点目標があり、一目見て1年間の組織図として職員・保護者に提供されています。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
<p><コメント>保育士不足の現状や地域での福祉計画策定動向、利用者としての保護者要望などはデータで把握していますが、定期的に保育所利用者の推移、利用率の分析などの見極めを期待します。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
<p><コメント>具体的に把握している実態を全職員に周知をし、理事など役員のみならず、課題解決のわかりやすい協力として、組織一体となった取り組みを期待します。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
<p><コメント>明確なビジョンが、中長期に計画として示されていませんが、イメージとして頭の中に描かれています。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c

<p><コメント>単年度計画には反映されていません。</p>		
<p>I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。</p>		
6	<p>I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。</p>	a
<p><コメント>年度初めに事業計画の説明と配布が行われ、実施状況や評価・見直しは各クラスのリーダー会議を通じて反映されています。</p>		
7	<p>I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。</p>	a
<p><コメント>保護者等への事業計画は、各クラス懇談会で説明され、「入園のしおり」にも掲載されており、保護者アンケートによると保育の内容 96%・事業計画 88%知らされているとの答えがあり、理解を促しています。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
<p>I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。</p>		
8	<p>I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。</p>	a
<p><コメント>組織全体が様々な会議で、話し合いが行われ、日案、週案、月案など一年を通じたPDCAサイクルを機能させている。</p>		
9	<p>I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。</p>	a
<p><コメント>自己評価結果から課題を見つけ話し合われたり、各部会(研究部・行事部・地域活動部・給食部・環境整備部・環境構成看護部)での反省等、各クラスからの意見提供等の話し合いを続けています。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
<p>Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。</p>		
10	<p>Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。</p>	a
<p><コメント>業務分担表にその役割が記載され、「園長・主任リーダー会議」を通しても行われ、その責任を積極的に果たしています。</p>		

11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<p><コメント>指摘を受けた部分に対しては改善をすべき取り組みをしており、遵守すべき法令は守られ会議等で伝達し、幅広い分野(危機管理等)を保育に生かしています。</p>		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
<p><コメント>各会議や保育士一人ひとりの「振り返りの機会」等を設けることで、保育の質の向上につなげるよう取り組んでいます。</p>		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a
<p><コメント>パソコンの導入や時短になるよう工夫しながら、又臨時的職員を正規職員にするなど、職員側から見ると適材適所配置には人員不足により欠ける面があるものの、働きやすい職場づくりを目指して頑張っています。</p>		

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
<p><コメント>同一賃金同一労働のもと、以前に述べた臨時的職員から正規職員として取り組んでいますが、人材確保の面ではこの地域一帯が人員不足傾向が進み、採用活動が思いのほか難航している状態になっています。引き続き、継続的取組を今後に期待します。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	b
<p><コメント>「園の目標」に対して「目指す保育士の姿」、「こんな子に育てほしい(保護者要望)」に向かって実践していますが、明確な人事制度としての基準が明確ではないので組織として「相対的評価」になってしまいます。今後は、現状にマッチした目標管理制度など何らかの工夫が必要になります。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
<p><コメント>職員の意向も把握しながら臨時的職員から正職員へと法令順守を実行しています</p>		

<p>が、人員不足の改善策に悩んでおり、職員の適材適所とまではいかないようです。職員との定期的な個別面談もままにならず、職員サイドからは「回数を増やすよう要望」されており、クラス配置希望等今後に期待されています。</p>		
<p>Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</p>		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<p><コメント>理念・基本方針・目標に沿った「自己点検」をもとに面接の機会があります。しかしクラス目標から職員一人ひとりの目標が明確にされていますが、目標展開を進めるためにも複数回の面接の取り組みに配慮しながらの育成に、今後は期待したいものです。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
<p><コメント>キャリアアップシステムがコロナ対策により中止となっていたものが、実施されており、これを基にOJTにより実施・展開されています。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
<p><コメント>コロナ禍では、キャリアアップに期待しており、取得できていないところを重点的に平等に、計画的に実施されています。</p>		
<p>Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</p>		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取り組みをしている。	a
<p><コメント>実習生受け入れのマニュアルは整備されております。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
<p>Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取り組みが行われている。</p>		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
<p><コメント>ホームページ等で理念・基本方針などの情報公開が行われており、第三者評価結果も閲覧できるようになっています。保護者等についても印刷物や広報誌も配布されています。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取り組みが行われている。	b
<p><コメント>公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取り組みとは、施設全体のルールの明確化であり組織の「見える化」です。県・市の指導監査や法人内監査は外部監査には</p>		

含まれません。サービスの質の向上のためには? どのようにしたら目的のサービスへと実現できるのか、財政的にも目標値が必要になります。この指導・助言などが外部監査となります。

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取り組みを行っている。	b
<p><コメント>「未満児保育園」なので子どもの個別的状況に配慮がなされ必要と思われる地域の人々との交流はなされており、例えば地域の「泉町地域福祉センター」との交流や「子どもハローワーク」などとの交流がなされています。むしろ発達段階から見て保育士とのアタッチメントや運動機能の開発等個別的成長を促すことが重点に掲げられています。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
<p><コメント>ボランティア受け入れのマニュアルが整備され、職員にも周知されています。子どもの関係から限られてきますので、インターンシップを受け入れています。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<p><コメント>社会資源がリスト化され関係機関など明確にされています。体制ができており、適切に連携が図られ情報を共有しています。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		
26	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取り組みが行われている。	b
<p><コメント>地域に向けて情報を提供したり、相談を受けたり、記録したりしていますが、相談事業や福祉ニーズを把握するための取組みが必要に応じてその都度になっています。</p>		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている。	b
<p><コメント>未満児保育園であるために、地域のニーズに応じて実行するには至らない点が多いようです。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	b
<p><コメント>施設の基本姿勢は、理念・基本方針に明示されている。子どもの尊重や基本的人権への配慮については、「否定語を使わない」を職員間で意識化を図り「気づきシート」「子どもの様子」「保育士の関わり（他の見方）」「エピソード記録」等を基に取り組んでいます。定期的な状況の把握や評価を行う時期を明記する等、必要な対応ができる仕組み作りへの取り組みに期待します。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b
<p><コメント>プライバシー保護は、基本命題と認識し会議等で検討され改善に向けた取り組みがなされ排泄・着替え・シャワー時等生活面においても保育室内に手洗い場を設置や水遊び時の幕を張り外部から見えなくする対策を施す等様々な箇所に工夫が見られました。規程・マニュアル等の整備と周知への今後の取り組みに期待します。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b
<p><コメント>保護者等への情報提供について、ホームページ・リーフレット・入園のしおり・個別面談での説明（面接ペーパーを作成し示している）・施設見学・給食の説明等を施設として積極的に取り組んでいます。保護者の視点から、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容になるような工夫や配慮を望みます。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育所の開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	b
<p><コメント>利用希望者に対して、定めた様式に基づき保育所の「目的」「運営方針」等について説明しています。配慮が必要な保護者への説明について、ルール化され保育の開始や変更時には同意を得たうえでその内容を書面で残しています。同意にあたっては、保護者等の意向について更なる配慮が今後も望まれます。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b
<p><コメント>子どもの状態の変化や家庭の情報を大切に、保育の継続性を損なわないような配慮のもとに引き継ぎや申し送りの手順、文書の内容等を定めています。アンケートには、理由を記入してもらったり、保護者懇談会に来られない人の否定的な意見も前向きな意見として取り組みに生かす姿勢が見られます。保育所終了後の対応を、ルール化し職員間で共有された取り組みを期待します。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取り	b

	組みを行っている。	
	<p><コメント>子どもの満足の把握、保護者に対する利用者満足に関する調査（保護者アンケート）の結果について、分析・検討し具体的な保育の改善に結びつける、そのために保育所として仕組みを整備し取り組んでいます。行事や日常の保育の様子を映像化したDVDや写真用CDを貸し出し「育ちの喜び」を共有する取り組みも満足度に反映されているようです。より良い関係づくりが築かれるよう、DVD工夫された取り組みを期待します。</p>	
	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
	<p><コメント>苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）が整備され仕組みについても解りやすい説明の掲示物もあり周知が図られています。子どもや保護者等が苦情を出し易い工夫として、「入園のしおりに説明」「投書箱の設置」「アンケートの意見、要望」「送迎時や連絡ノート等」により日々の中で積極的に取り組まれています。</p>	

35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
	<p><コメント>送迎時や連絡ノートにより、保護者が必要に応じて相談・意見が述べられる環境づくりにより利用者本位の保育サービスに取り組んでいます。また、日常的に保育での様子等を積極的な言葉がけにより伝える取り組みも行われています。</p>	
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	<p><コメント>意見ボックスの設置や登降園時の情報交換等により、保護者からの要望や意見が寄せられやすい環境になるよう組織的に取り組んでいます。出された際の対応については、保護者支援に手を加えた「保護者支援マニュアル」の作成に取り組んでおり完成後も見直しによる改善に取り組まれる事を期待します。</p>	
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取り組みが行われている。	
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
	<p><コメント>リスクマネジメントの目的を「安全」と捉え、毎月の安全点検や日常の気づきに加えヒヤリハットや事故報告に基づき確認・対応を講じています。事例の収集後、要因分析と改善策・再発防止策の検討・実施を3ヶ月に一度行っています。危険予知として、どんな箇所が危険かを確認し周知にも取り組んでいます。今後のリスクマネジメント体制を見直し・改善に向けた取り組みが望まれます。</p>	
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取り組みを行っている。	b

<p><コメント>感染症対応のマニュアルの整備や予防策の徹底など職員や保護者へ玄関ホールに感染症発生状況を示す等周知に取り組んでいます。今後は、マニュアル等は、見直し・改善を定期的に行う事を望みます。</p>			
39	Ⅲ-1-(5)-③	<p>災害時における子どもの安全確保のための取り組みを組織的に行っている。</p>	b
<p><コメント>備蓄品は、アレルギーのある子どもでも安全な物を取り揃えています。災害支援ネットワークにも参加されていますが、今後の災害時における訓練には、地元の行政や自治会等と連携した体制をもって取り組まれる事を期待します。</p>			

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果	
<p>Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</p>			
40	Ⅲ-2-(1)-①	<p>保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。</p>	b
<p><コメント>アセスメントは、入所時は勿論、毎月実施されている「気づきシート会議」（子どもの育ちや家庭の状況などを把握し、共通理解のもとで保育や保護者支援に資する目的）など、アセスメントに基づいて必要な援助をしております。デイリープログラムを標準とした保育の提供に取り組んでいます。定期的に留意事項等含め実施状況の確認への取り組みを期待します。</p>			
41	Ⅲ-2-(1)-②	<p>標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	b
<p><コメント>標準的な実施方法について、見直しの時期を設定しており時代の変化に伴う新たなニーズを把握し適切に対応する姿勢が見られます。毎年、クラスのリーダー会やクラス内での話し合いによる検討を経た結果を園としての見直しとする取り組みがなされていますが保育の質の観点から保護者等からの意見や提案を取り入れる取り組みを期待します。</p>			
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>			
42	Ⅲ-2-(2)-①	<p>アセスメントに基づく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。</p>	b
<p><コメント>入園前の個別面談で子どもと保護者の状態を把握し、職員の適切な役割分担と協力体制を整え指導計画を立てています。毎月実施の「気づきシート会」での検討等、積極的かつ適切な保育の提供が行われています。子ども・保護者の希望やニーズを適切に反映される仕組みの見直しと改善に取り組む事を期待します。</p>			
43	Ⅲ-2-(2)-②	<p>定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。</p>	b
<p><コメント>指導計画の評価・見直しは、毎年（年度末）各グループで討議しリーダー会を中心に取り組んでいます。職員の共通理解のもとで積極的かつ適切な保育の提供が行われ「振り返り」や「評価」を行う仕組みも構築されています。指導計画変更の手順書の整備に加え、子ども・保護者の希望やニーズを適切に反映される事が、保育の質の向上に結びつく課題と捉え積極的な取り組みを期待します。</p>			

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	b
<p><コメント>子ども一人ひとりの保育の実施状況は、児童票・日誌や職員会議、引き継ぎや申し送りによつて的確に行われ職員間での共有化がなされています。共有化として、伝えてはならない情報、担当者で留めてよい情報と責任者等へ伝えるべき情報、他部門への伝達が必要な情報、速やかに伝えるべき内容と後日整理して伝えるべき内容等が的確に分別され、決められた方法によつて伝達されていく仕組みの構築を望みます。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
<p><コメント>記録の管理体制については、文章化されていないものの、記録管理の責任者や、児童票の保管は金庫に保存年限（10年間）を決めて取り扱っていますが、今後は、保護者等にも周知することなども加えて明文化するよう期待します。</p>		

【内容評価項目】

A-1. 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 全体的な計画の作成		
①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a
<p><コメント>保育所保育指針、秋田県が目指す子供の姿、大館市の保育目標を踏まえ、職員一人一人の意見をリーダー会で集約したうえで作成されています。更に6つに細分化し、それぞれの子どもの状態や発達過程に考慮した内容となっています。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
<p><コメント>乳児さんがハイハイをしたまま安全に室外に出られるよう、緩やかなスロープを整備したり、一人一人の空間を確保できるよう工夫された手作りの遊具を用意するなど細やかな配慮がされています。室内温度、湿度も季節によつて一定に保たれるよう空調設備に数値が明記されて、快適に過ごせる配慮も確認できました。</p>		
③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
<p><コメント>『子ども一人ひとりの心の読み取り』を職員一人一人が意識し子どもの保育が行われています。日々の記録の他、クラスごとの会議で話し合いを通じ共通理解し、実践しさらなる理解を深められています。短時間ではありますが、保育場面を見学した際に子どもと保育士さんとのかかわりからも見て取ることができました。</p>		

④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a
<p><コメント>自己評価より、2歳児クラスでは自ら着替えを取り出しやすくするために、ロッカーに工夫をしているとの事でしたが確認できました。また、子どもの背丈に合わせた手洗い場を新たに作り、子ども自身が自分でやろうとした際にそれがかなえられる環境となっています。</p>		
⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
<p><コメント>園庭にはそれぞれのクラスから直接アクセスできるようになっており、十分な空間が確保されています。大きな木の下でおやつを食べたり、雨の日も水や泥んこに親しめるように保育が配慮されています。記録には、あるお子さんが外で遊んだ時に見た木の葉をお絵描きのモチーフにしたエピソードがありました。</p>		
⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p><コメント>床にさまざまな動物の足跡が描かれているスペースがあり、ハイハイする乳児さんの興味を引く配慮がされています。連絡帳や送迎時に保護者と情報交換をすることの他に、面談希望者には個別に面談しています。具体的には、食事(成長に伴うおかゆの硬さの変更や、食べる時の集中の方法について)に関する記録を拝見し、綿密に連携されていることが確認できました。</p>		
⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p><コメント>保育指針の5領域ごとに、具体性のある内容とそこから予想される子どもの姿、保育士のかかわりと丁寧な計画を立てられ、実践されています。近所のデイサービスを利用されている方々との交流もあり、園で収穫したサツマイモを届けたり、クリスマス会に招待するなど保育士さん以外の大人との関わりも行われています。</p>		
⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	/
<p><コメント></p>		
⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	/
<p><コメント></p>		
⑩	A-1-(2)-⑨ それぞれの子ども在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p><コメント>長時間保育計画を作成しそれに沿って保育されており、早番・遅番記録簿に引継ぎ事項を記録することで正確な情報の伝達に努められています。どの時間でも、子ども一人一人</p>		

が心地よくすごせるよう(眠い時は眠らせる)環境や保育内容へ配慮されています。		
⑪	A-1-(2)-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。
〈コメント〉		
A-1-(3) 健康管理		
⑫	A-1-(3)-①	子どもの健康管理を適切に行っている。
〈コメント〉保健計画に基づき、感染症マニュアル等を整備し実施体制を整えています。毎日2回、検温など健康チェックを実施するほか発疹や虫刺され、体調不良が認められた際は看護日誌に記録し保護者にも洩れなく伝えられています保護者には入園時スライドを用いて SIDS に関する情報提供をしている他、入園のしおりにも記載し周知を図っています。		
⑬	A-1-(3)-②	健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。
〈コメント〉歯科検診の結果を保護者に知らせるとともに、必要に応じて受診・治療を進めていることが確認されました。		
⑭	A-1-(3)-③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。
〈コメント〉緊急時のマニュアルに基き毎月緊急対応訓練を実施し、万が一に備えた体制整備がなされています。アレルギー、熱性けいれんについて保護者と面談し、定期通院の結果を確認し医師の指示のもと対応しています。これらは全職員で共有の他調理員にも伝え必要な対応をしています。		
A-1-(4) 食事		
⑮	A-1-(4)-①	食事を楽しむことができるよう工夫している。
〈コメント〉全体的な保育計画に食育の推進をうたい、こどもひとりひとりの発達に合わせた配慮がなされています。園庭の畑で収穫した野菜を調理師さんまで子どもたちが届けるといった取り組みをされており、食についての関心を育まれています。食事中は子どもの食べる意欲を大切に、少量でも食べられれば褒めるといったことで前向きな気持ちも育まれています。保護者との情報交換も細かく行われ、園での取り組み家庭での取り組みが共有されています。		
⑯	A-1-(4)-②	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。
〈コメント〉調理師と情報共有し、アレルギーの子どもにはアレルゲンを含まない食材・調味料を使った食事が提供されています。地元の特産物であるとんぶりを用いたメニューや郷土食、七夕にはそうめんなど季節に応じた食事提供をされています。給食会議で子どもの食べる様子などを保育士・調理部で共有し、食事内容の評価・見直しも実施しています。		

A-2. 子育て支援

	第三者評価結果
--	---------

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
<p><コメント>朝夕の送迎時、連絡帳で保護者とコミュニケーションをとるほか、保護者面談や保護者交流会を通じ、保育内容について説明し理解を得ています。当評価に関わるアンケートの他に、独自の保護者アンケートを実施されており、要望・意見に対して職員が共有し話し合意を重ねたうえで丁寧なフィードバックがなされています。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
<p><コメント>面談を個別に行う体制が整備されており、保護者一人一人に応じた支援をされています。内容は記録に残し、担当者が対応できなかった場合はリーダーや主任に相談する体制が整えられています。独自の取り組みとして、普段の保育中の子どもの様子や行事の様子を映像としてDVDにまとめ貸し出しを行っています。保護者にとっては普段の子どもの様子を知ることができ大変好評なようです。</p>		
⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
<p><コメント>虐待防止マニュアルを整備し、早期発見・対応を組織的に取り組まれています。毎朝当園時の子どもの様子確認の他、気づきシートを活用し毎月職員間で情報共有しています。職員研修も十分行われており、園の「子ども、親の双方を守っていく」という強い意志が感じられました。</p>		

A-3. 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a
<p><コメント>毎日の保育記録の振り返りの項目について、事実と所感が区別されて記載されており読む側にとってもわかりやすいものでした。会議でこれを共有し、お互いの学びにもつながっています。振り返りの中でも特によかった部分やポイントになる部分に対して、上司がアンダーラインを引いたり口頭で伝えるなどといったフィードバックもとてもよくなされています。</p>		